# 死の床に生きる人々

## じん肺患者（管理4）に見る実態

荒尾市民病院5階の病室で、仲間とともに療養生活をおくつている、じん肺患者の井上忠光さん。家族と離れて早や12年だが……。

# 解雇制限と前収補償

## 叫びつづけてきたこの要求

いま改めてCO闘争をどうすすめるかということが問われている中で、じめてきたものに職業病のじん肺がある。とくに入院中の重症患者は、ない死につながるベッドを住み家として生きているが、すでに三井鉱山からクビを切られた人ばかり。「解雇制限」「前収補償」のCOに関する要求は、そのままじん肺患者にとってこそ、いっそう痛切な要求だったのだ。

CO闘争・命を守る闘いの中で改めて問題になっているじん肺患者は、三池労組関係者ばかりで約百五十人。三池じん肺会（向井芳夫会長＝荒尾市南増永）に結集しながら、常に要求をかかげて闘っている。

不幸なことに、ここでも組織は分裂状態で、三池新労組関係のじん肺患者は、別に職員組合関係の患者といっしょになって、けい友会をつくっているが、この方は闘う組織というより共済会的な性格。その数約百八十人と。

じん肺患者の全国組織もある。じん肺患者同盟（栃木県）がそれで、常に補償の充実・拡大のために闘っている

### 明日なき生活

いま、三池じん肺会の会員で入院中の患者六十人、みな管理四の重症患者。荒尾市民病院、緑ヵ兵療養所、そのほか二、三の病院で長期給付を受けながら不安な療養生活を送っている。

じん肺は、鉱山労働者をつかまえては苦しめる職場病。三池炭鉱では、当然ながら掘進夫の間に多発してきた。呼吸とともに肺組織内に吸いこまれた岩粉が、内部でじわじわとコンクリート状に固まっていくところからひき起こされる疾患で、じん肺に冒されるとしだいに肺活力が奪われていき、管理四ともなれば一歩あるいてさえひどい息切れに襲われ、苦しまなければならない。

あとになると体組織のほかの部分には、なお長くつづく生命力が恵まれているというのに、肺活力だけが完全に停止してしまい、患者は、したがってノドにつまってくるタンを排出する力がなくなり、最後には窒息状態となり、あたりをツメでかきむしりながら七転八倒し、悶死していくのが常である。

家族の者は、そんなときとうてい患者の側についているのに耐えないといい、だれもが「こげんむごか殺され方があるもんか」と、歯ぎしりするほかないと。

### もののたたり

このようなじん肺に対して、資本側は昔、疾患の起こる原因を「よろけ」とか「もののたたり」などといいながら、個人がまねいた不幸・不運だとして、何のかえり見ることもしなかった。

しかし戦後積極的に究明されていった末に、その原因が明らかになった。そして闘った結果、昭和三十年に至ってようやく、〝けい肺法〟の成立を勝ち取ることができた。同三十三年にはその内容を改めて〝じん肺法〟にかわり、じん肺患者はまがりなりにも一応の補償が受けられるようになった。

それとて、賃金において前収の六〇％というように、まずしい内容でしかないのだが。

### 橋本さんの話

いま何くれとなくじん肺患者のめんどうを見ている三池じん肺会の橋本事務局長（三川・保安委員）は、じん肺問題について語る。

「自分の今日の命が果していつまで保てるか。これがすべてのじん肺患者に負わされた宿命です。だから患者は、自分の命を一日でも長く保てる道はないもんかと、病院を点々とまわるのが常ですから、そのめんどうを見るにも追っかけまわさねばならず、大変なんですよ。

いま私たちはCO要求として〝前収補償〟や〝解雇制限〟を叫んでいますが、もともとこの要求は例のけい肺法制定闘争のとき、いち早く提出しているじん肺患者の要求でもあるんですよ。ですからCO立法闘争の成果を期待したのは、当のCO患者以上にじん肺患者だったといってさしつかえはない、と思います。あのCO法の中でその要求が実現できたら、よーしというわけだったんですから。

明日のない患者に対して、せめてもの施策ではないでしょうか。今は長期給付と肩がわりに、三年すればクビを切られなければならないということは、許すことができんですよ」

### 井上さんの話

荒尾市民病院入院中のじん肺患者の一人に、井上忠光さん（五十一才＝同市緑ヵ兵敷島町三〇番地）がある。井上さんは、患者の気持を次のように語った。

「私は昭和二十一年三月四山鉱に掘進夫として入社した。早くも二十六年の検診にひっかかった。でも軽かったので、意にもとめなかった。

ところが三十年十二月レントゲン検査の結果、重症の通知を受けついに三十二年三十七才で、ついに働けなくなって家庭療養となり、三十四年から入院する身となった。

三十年にけい肺とのラク印押された同期生が二十二人だったが、そのうち生き残りは十二人、早くも十人は死んでいった。

『あんたはもう、会社にこんでもよか』との通知を受けたときの気持は、何にたとえようもなかった。その頃掘進夫の間からは、ぞくぞくけい肺患者がでていて、先輩はたいてい二年から五年の間に死んでいた。だから、自分の明日はもう見えたもんだったし、女房と二人泣き暮らしの毎日だった。どうすることもできなかった。とにかく俺が死んだら、お前たちは何とか一時金でやっていけ、というほかなかった。

いまは改良された薬のおかげでいくらか命がのびたことが、やっぱりうれしい。みんなではげまし合って生きている」

命を守る闘いをすすめる労働者に、いま改めてじん肺問題が提起されている。

## 主婦会分会長の生活と意見

### 義理人情でも頼りにして……

すする義理から加入してくださったんでしょうが、主旨はどうであれ現実に理解の中で二年近くも続けてくださっているんです。本当にありがとうございます。固い話しも気長がに、それに合った付合いというものです。

私の主人は、「生命を守る闘いが、何であるかを十分理解もできないで、ただの義理人情で付き合ってくれる、そんな会員は意味がない」といいますが、いつも論理的な観念的な主張ばかりで、業騒音が喧しいといって、近所の苦情がたまらない、一体どうしてくれる」と突きかかってこられるのです。そして「反対」だけを前面にだした公害反対には、どうしても納得できないと仰言るのです。私は返答に窮し、そこそこに謝つて退ってきました。

また公民館では、校区の婦人会が「公害を防ごう」と、自然の材料をふんだんに使った料理講習会を開いておられました。私は感心ばかりしてはいられないと、さっそくお仲間に加えていただき、大いに勉強して帰ってきましたが、私たち以上に街の奥さんたちも真剣です。

大牟田市の手鎌では、農家保有婦の会が全国調査した、内職工賃は時間当り六十七円五十九銭ですから、二年前のそれより低いのです。

三井資本が支配する大牟田・荒尾では、全面的に低賃金です。「口惜しい、くやしい」大いに不平不満があるのですが、パートで一生懸命頑張れば、生活に張りが楽しいものです。売場に立つと、あらゆるタイプのお客さんと接触するし、いろんな意味で参考になることばかりですね。

「内職しなくても食べられる賃金をとろう」炭鉱の反合理化の闘いも大切ですが、長期抵抗には限界があります。私は歯をくいしばって、今日もレジスターの中を照査し、間違いのなかったことを確認すると、帰り仕度をはじめるのです。

とりが、どんな小さな「公・工害」も見逃さず、敏感になると、地方自治体の方もどんどん防止法を作り、それに比例して、いろいろと中小企業の中に、あるいは御用組合の中に、矛盾が生まれるわけですね。私は一つの署名運動の中から、ミニマムな社会学を勉強し、かしこくなっていくようです。

### パートで生活に張りが

ともかく、私はスーパーでは信頼されたパートです。食品セールに懸命になります。一体一日平均二万円の売上げです。それで日給五百三十円、八時間の時間帯でその工賃を割りだしますと六十六円二十五銭、昭和四十三年に総評主

## 対話を通じて勉強

### 主人は「……」というけれど

四山　川本フネ子

### 市民との対話を作ろう

対話といえば、一般の市民のかたたちとの結びつきは、非常に大切なものですね。

つい先だっての『公・工害に反対する署名運動』のときも、あるお豆腐屋さんでは「……あんた達は恰好よくせん動してやっているこ人のネームで登録済みですが、こうちでは、朝っぱらからの作業騒音が喧しいといって、近所の苦情がたまらない、一体どうしてくれる」と突きかかってこられるのです。そして「反対」だけを前面にだした公害反対には、どうしても納得できないと仰言るのです。私は返答に窮し、そこそこに謝つて退ってきました。

また公民館では、校区の婦人会が「公害を防ごう」と、自然の材料をふんだんに使った料理講習会を開いておられました。私は感心ばかりしてはいられないと、さっそくお仲間に加えていただき、大いに勉強して帰ってきましたが、私たち以上に街の奥さんたちも真剣です。

大牟田市の手鎌では、農家保有婦の会が全国調査した、内職工賃は時間当り六十七円五十九銭ですから、二年前のそれより低いのです。

三井資本が支配する大牟田・荒尾では、全面的に低賃金です。「口惜しい、くやしい」大いに不平不満があるのですが、パートで一生懸命頑張れば、生活に張りが楽しいものです。売場に立つと、あらゆるタイプのお客さんと接触するし、いろんな意味で参考になることばかりですね。

「内職しなくても食べられる賃金をとろう」炭鉱の反合理化の闘いも大切ですが、長期抵抗には限界があります。私は歯をくいしばって、今日もレジスターの中を照査し、間違いのなかったことを確認すると、帰り仕度をはじめるのです。

（つづく）